



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)真駒内東町1マンション	階数	10
建設地	南区真駒内東町1丁目17-133、-146、-539、-543、457-2、-3	構造	RC造
建物用途	集合住宅	平均居住人員	80人
竣工年	2024年6月 予定	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
敷地面積	841 m ²	評価の段階	実施設計段階評価
建築面積	232 m ²	評価の実施日	2022年11月22日
延床面積	2,091 m ²	作成者	
		確認日	
		確認者	

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★ **B+**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 建築環境SDGsチェックリスト評価結果

*SDG1,2,10,14,16は他のゴールに集約されています

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 一次エネルギー消費量の評価

建物全体の[BEI][BEIm] **0.90**

ZEB/ZEH-Mランク **非該当**

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.8

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項

総合 快適な住空間の創出と省エネの両立をめざしました。		A 省エネルギー 断熱材の厚さや二重サッシにより冷暖房負荷低減を図りました。	
B 省資源等 乾式間仕切壁を採用しています。		D 蓄処理 ロードヒーティングにより融雪を行います。	
C 緑化 特になし。			

4 ほかの認証・評価制度の利用			
(一財)住宅・建築 SDGs 推進センターのCASBEE認証	-	BELS認証	-
上記以外の認証・評価制度の利用	-	LEED認証	-

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■環境品質Q=25×(Qのスコア-1)、環境負荷L=25×(5-LRのスコア)より算出

CASBEE_Sapporo2021v1.0
 (仮称)真駒内東町1 マンション

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE_Sapporo2021v1.0

■評価ソフト: CASBEE札幌2021 (ver.1.0)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分				住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点評価項目	環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質										
Q1 室内環境										
1 音環境										
1.1 室内騒音レベル										
1.2 遮音										
1 開口部遮音性能										
2 界壁遮音性能										
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)										
4 界床遮音性能(重量衝撃源)										
1.3 吸音										
2 温熱環境										
2.1 室温制御										
1 室温										
2 外皮性能										
3 ゾーン別制御性										
2.2 湿度制御										
2.3 空調方式										
3 光・視環境										
3.1 屋光利用										
1 屋光率										
2 方位別開口										
3 屋光利用設備										
3.2 グレア対策										
1 屋光制御										
3.3 照度										
3.4 照明制御										
4 空気質環境										
4.1 発生源対策										
1 化学汚染物質										
4.2 換気										
1 換気量										
2 自然換気性能										
3 取り入れ外気への配慮										

4.3 運用管理									
1	CO ₂ の監視								
2	喫煙の制御								
Q2 サービス性能									
1 機能性									
1.1 機能性・使いやすさ									
1	広さ・収納性								
2	高度情報通信設備対応								
3	バリアフリー計画								
1.2 心理性・快適性									
1	広さ感・景観								
2	リフレッシュスペース								
3	内装計画								
1.3 維持管理									
1	維持管理に配慮した設計								
2	維持管理用機能の確保								
2 耐用性・信頼性									
2.1 耐震・免震・制震・制振									
1	耐震性(建物のこわれにくさ)								
2	免震・制震・制振性能								
2.2 部品・部材の耐用年数									
1	躯体材料の耐用年数								
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	省資源							
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	省資源							
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	省資源							
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	省資源							
6	主要設備機器の更新必要間隔	省資源							
2.4 信頼性									
1	空調・換気設備								
2	給排水・衛生設備								
3	電気設備								
4	機械・配管支持方法								
5	通信・情報設備								
3 対応性・更新性									
3.1 空間のゆとり									
1	階高のゆとり								
2	空間の形状・自由さ								
3.2 荷重のゆとり									

3.3 設備の更新性				3.0	1.00		-	
1	空調配管の更新性		-	3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		-	3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		-	3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		-	3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		-	3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		-	3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30		-	1.8
1	生物環境の保全と創出	緑化	-	1.0	0.30		-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮	緑化	-	2.0	0.40		-	2.0
3	地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30		-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	雪処理	-	3.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	省資源 緑化	-	2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-		-	3.3
LR1 エネルギー				-	0.40		-	3.7
1	建物外皮の熱負荷抑制	省エネ	BPI= 0.00 品確法= 等級4 等級4	4.0	0.20		-	4.0
2	自然エネルギー利用	省エネ	-	3.0	0.10		-	3.0
3	設備システムの高効率化	省エネ	BEI= 0.90 -	4.0	0.50		-	4.0
4	効率的運用			3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価					-		-	
4.1	モニタリング	省エネ	-		-		-	
4.2	運用管理体制	省エネ	-		-		-	
集合住宅の評価				3.0	1.00		-	
4.1	モニタリング	省エネ	-	3.0	1.00		-	
4.2	運用管理体制	省エネ	-	-	-		-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30		-	3.1
1	水資源保護			3.0	0.20		-	3.0
1.1	節水		-	3.0	0.40		-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		-	3.0	0.70		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		-	3.0	0.30		-	
2	非再生性資源の使用量削減			3.2	0.60		-	3.2
2.1	材料使用量の削減	省資源	-	3.0	0.10		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用	省資源	-	3.0	0.20		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	省資源	-	3.0	0.20		-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	省資源	-	3.0	0.20		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材	省資源	-	3.0	0.10		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	省資源	乾式間仕切壁を採用	4.0	0.20		-	

3 汚染物質含有材料の使用回避				3.3	0.20		-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			ビニル床タイル	4.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70		-	
1	消火剤	省資源	-	-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)	省資源	-	3.0	0.50		-	
3	冷媒	省資源	-	3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境				-	0.30		-	2.9
1 地球温暖化への配慮		省資源	-	3.3	0.33		-	3.3
2 地域環境への配慮				2.5	0.33		-	2.5
2.1 大気汚染防止		省資源	-	3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善		省資源 緑化 雪処理	-	2.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減	省資源	-	3.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制		-	3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制		-	3.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制	省資源 雪処理	-	3.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33		-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40		-	
1	騒音		-	3.0	0.33		-	
2	振動		-	3.0	0.33		-	
3	悪臭		-	3.0	0.33		-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制				3.0	0.40		-	
1	風害の抑制		-	3.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制		-		-		-	
3	日照阻害の抑制		-	3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制				3.0	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		-	3.0	0.70		-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		-	3.0	0.30		-	



■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2021v1.0

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2021(ver.1.0)

1 建物概要

建物名称	(仮称)真駒内東町1 マンション	BEE	1.1	BEEランク	B+
建物用途	集合住宅				
延床面積	2,091.3 m ²				

2 重点項目への取り組み

レーダーチャート

地球 温暖化 対策	最重点項目 省エネルギー	★★★★★	<p>省エネルギー性能</p> <p>省資源等への取組</p> <p>緑化への取組</p> <p>雪処理</p> <p>★1=スコア(最低点~最高点)20%以下 ★2=スコア(最低点~最高点)20%~40%以下 ★3=スコア(最低点~最高点)40%~60%以下 ★4=スコア(最低点~最高点)60%~80%以下 ★5=スコア(最低点~最高点)80%以上</p>
	省資源等	★★★☆☆	
	緑化	★☆☆☆☆	
	雪処理	★★★★☆	

3. 重点項目のCASBEEスコア

A 省エネルギー (最高点 30.3 最低点 9)		合計		21.8点 / 30.3点	
Q1 温熱環境	スコア 2.9 / 3.7	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア 3.2 / 4.0		
Q1 光・視環境	スコア 4.1 / 6.6	LR1 自然エネルギー利用	スコア 1.2 / 2.0		
		LR1 設備システムの高効率化	スコア 8.0 / 10.0		
		LR1 効率的運用	スコア 2.4 / 4.0		
B 省資源等 (最高点 23.6 最低点 7.7)		合計		14.0点 / 23.6点	
Q2 耐用性・信頼性	スコア 0.6 / 1.0	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア 5.8 / 9.0		
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 0.9 / 2.3	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア 1.3 / 1.9		
		LR3 地球温暖化への配慮	スコア 3.3 / 5.0		
		LR3 地域環境への配慮	スコア 2.1 / 4.4		
C 緑化 (最高点 15.3 最低点 3.1)		合計		5.2点 / 15.3点	
Q3 生物環境の保全と創出	スコア 0.9 / 4.5	LR3 地域環境への配慮	スコア 1.0 / 2.5		
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア 2.4 / 6.0				
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 0.9 / 2.3				
D 雪処理 (最高点 3.0 最低点 0)		合計		2.0点 / 3.0点	
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0 / 1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア 1.0 / 2.0		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■重点項目の最高点は、各評価項目でレベル5で評価された場合の点数

■重点項目の最低点は、各評価項目でレベル1で評価された場合の点数